

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	天竜川シードルバレー・ブランディング事業
事業主体 (連絡先)	NPO 国際りんご・シードル振興会 office@pommelier.net
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,664,133 円 (うち支援金 : 1,154,000 円)

事業内容

地域の特産であるリンゴを原料とする地シードルを、新たな地域ブランドに育て上げ、国内外の方々にとって魅力ある交流・観光資源となることを目指すとともに、リンゴ生産者を含めた地域経済の向上・発展を目指す。

1 ナガノシードルコレクション 5月26日(土)
竹宵祭りと同時開催とし、飯田りんご並木で開催した。県内より 32 の出展者が一堂に会し、飲み手と造り手が語り合う、チケット制試飲イベントを開催した。

2 シードルウィーク 5月18日(金)～6月2日(土)
地域の飲食店におけるシードル販売の強化週間として、スクラッチキャンペーンを行った。

3 ナガノシードルセミナーの開催 5月27日(日)
inCiderJapan 誌 Lee Reeve 氏、農研機構 岩波徹氏、立教大学観光学部教授 東徹氏の多彩な講義及び聴講者とのディスカッションを行った。



【ナガノシードルコレクション】

事業効果

1 コレクションではチケット換算で延べ1,032人が来場。同時開催の竹宵祭り来場者数も前年比約30%増加した。飯田りんご並木を会場に、当日券販売も充実させることで、地域住民の参加をしやすいとした。県外からも10%を超える来場者を確保し、リンゴのお酒に親しむ市民や情熱ある生産者との交流が、来場者に感動を与えた。

2 ウィーク参加店舗は飯田市、松川町、高森町から32店舗にのぼった。この実績が、飯田観光協会の「南信州でシードルを買う。飲む。」ガイドパンフレット発行につながった。

3 セミナーでは、りんご生産者、醸造所、飲食店経営者等約50名が参加。多様な講師陣の講義に、積極的な質疑応答がみられた。もともと地域にあるリンゴ文化を再認識するとともに、シードルをイベントからライフスタイルに育てる目標を共有することができた。

【目標・ねらい】

- ①シードルの地域ブランドの確立
- ②域内への交流人口の増加
- ③シードル関係者が集う街の実現
- ④域内飲食店の取扱店舗の増加

※自己評価【A】

- ・コレクションに1,000人を超える参加者を集めることができた。
- ・シードルの認知度が向上した。
- ・シードルの地域ブランド化への関心が飲食店、観光業者、研究機関、行政期間等の異業種に波及した。

今後の取り組み

地域ブランド構築を強化するために以下の取組を行う。

- ① 地域関係団体と連携したナガノシードルコレクションの継続開催
- ② 地域関係団体と連携したシードルツーリズム推進事業への展開